

# 地域の問題解決に向けた観光交流を進めよう

宮城大学事業構想学部 宮原育子

1

「塩竈市長期総合計画シンポジウム」パネルディスカッション資料  
 地域の問題解決に向けた観光交流を進めよう  
 宮城大学事業構想学部 宮原育子

(1) 地域の問題 → 人口減少  
 ・定住人口の減少 地域の活力の減退

(2) 問題解決のための観光へ  
 ○「交流人口」を増やす  
 「交流人口」は観光客のほか、通勤、通学、買い物、食事、イベント参加など様々な理由で地域に來訪する人々を指します。  
 ○塩竈市に様々な理由で來訪する人々を増やす。  
 観光分野だけでなく、様々な分野の市民が関わるテーマ。

3

新しい交流に対応した地域の  
 魅力づくりの手法

(1) 地域資源の発掘と活用  
 「地域資源」とは、地域内に存在し、地域内の人間活動に利用可能な(利用されている)有形、無形のあらゆる要素。自然環境・現象などの自然資源、都市、歴史、文化、教育、人などの人文的資源がある。

(2) 多様な分野の連携による新たな資源や  
 事業の創造  
 「産学官連携」、「農商工連携」、「地域間連携」

2

最近の観光の傾向  
 「観光」から「交流」へ

○個人やグループで、地域探索、  
 ○新しいものとの出会いや学びへのニーズ  
 地域の暮らしや歴史、産業に触れる ⇒「ニューツーリズム」  
 都市農村交流(グリーン・ツーリズム)、産業観光、歴史観光  
 など

○地域が主体となった顔の見える関係づくりや  
 リピーターをつくるプログラムの必要性  
 地域を「観る」だけの「観光」から地域で出会う「交流」へ  
 塩竈市の「ファン」づくり

4

塩竈市の観光施策で重要なこと

・「観光客」から「來訪者」・「交流者」の誘客へ  
 視点の転換  
 「ビジターズ」産業

・「観光資源」から「地域交流資源」への転換

○塩竈市の全産業分野と全市民が関わる  
 ビジターズ産業＝タウンセールスの推進